



KAWASAKI CITY

土砂災害

Sediment Disasters

災害

ハザードマップ

土砂災害ハザードマップには、大雨や地震により土砂災害のおそれのある区域を示しています。また、避難場所をはじめ避難に役立つ情報を示していますので活用ください。

令和3年10月発行

幸区・中原区

区域の最新情報は神奈川県土砂災害情報ポータルを参照してください。

川崎市 まちづくり局指導部宅地企画指導課 | 川崎市幸区本町1番地 TEL.044-200-3035

我が家の防災メモ

ハザードマップを使って我が家の防災メモを完成させましょう!!

自宅を見つけましょう

裏面の地図で自宅が土砂災害警戒区域等に入っているか確認しましょう。
□ 区域に入っていない □ 土砂災害警戒区域 □ 土砂災害特別警戒区域

避難場所や避難経路を確認しましょう

状況に応じた避難方法を確認しましょう。
・安全な場所への避難
・近隣の高い建物等への避難
・屋内の安全な場所への避難

状況に応じた避難行動
安全な場所への避難
近隣の高い建物等への避難
屋内の安全な場所への避難

非常持出品を確認しましょう

非常持出品の保管場所は、家族のみんなで共有しましょう。

保管場所

家族やご近所で災害時の対応を考えましょう

家族やご近所での約束事を記入しましょう。

家族の約束事

ご近所での約束事

がけ崩れから身を守る

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

土砂災害の種類には、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、土石流、地すべりの3つの現象があります。ほとんどの土砂災害は、長雨や大雨、地震によって発生します。長雨や大雨の場合、大量の水分が地中にしみ込み、その重みが多いほど斜面の土の抵抗力が弱くなり、災害発生のおそれが多くなります。
なお、川崎市で発生のおそれのある土砂災害は急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）です。
がけ崩れは、大雨や台風等により、がけに水が浸透することでがけの強度が低下することによって、がけが突然崩れ落ちる現象です。崩れた土砂は、がけの高さ以上に離れた場所まで到達することがあります。前兆現象を確認するなど、危険を感じたら、速やかに避難することが大切です。

前兆現象

- 小石がバラバラ落ちてくる
 - 斜面に割れ目ができる
 - 斜面から水が湧き出す
- ※これらの現象が継続することで、がけの安定性が低下し、がけ崩れの発生危険性は高まっています。



気象情報や避難に関する情報の流れを確認しよう!

災害の危険性が高まると、「土砂災害警戒区域」に「避難情報」を発令します!

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災気象情報
警戒レベル5	既に災害が発生又は切迫している状況で、命を守るための最速の行動をとりましょう。	緊急安全確保 (川崎市が発表)	警戒レベル5相当情報 大雨特別警戒 (土砂災害)
警戒レベル4	危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示 (川崎市が発表)	警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3	避難に時間を要する人（高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (川崎市が発表)	警戒レベル3相当情報 大雨警戒 (土砂災害) 等
警戒レベル2	避難に備え、土砂災害ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報 等 (気象庁が発表)	これは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めます。	早期注意報 (気象庁が発表)	

避難情報等が配信されるメールニュースがわかりやすく登録しましょう。メールニュースがわかりやすく検索

避難時の注意事項

災害時に避難するときは、普段通っている道でも足元が見えないことが多いので慎重に歩きましょう。また、頭上からの落下物や飛来物にも十分注意しましょう。いざというときに慌てないために、どこへ、どの道を通って避難するのかを日頃から家族やご近所と話し合っておきましょう。

火の始末、戸締り

台所や暖房器具の火を消しましょう。避難する前にブレーカーやガスの元栓を切りましょう。

家族にメモを残す

避難するときは、家族に連絡の安全な情報などのメモを残しましょう。

家に引き返さない

土砂に巻き込まれる可能性があるの、忘れ物などを取り、家に戻らないようにしましょう。



避難時は助け合おう

自力で避難することが困難な方は、早めの避難が必要です。お年寄りや子供が安全に避難できるように協力しましょう。

慌てずに行動

避難路の安全を確かめながら、落ち着いて行動しましょう。また、市が指定する避難場所へは、避難情報が出るまでは、開設されていないことがあります。避難場所へ自主避難を行う場合には、事前に区役所へ連絡し、確認するほか、急を要する場合には、区域外の親戚や知人等への一時避難も有効な避難方法です。いざというときは、慌てずに行動し、身の安全を確保してください。



避難が困難な場合は

避難場所への避難が困難な場合には、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリートなどの堅固な建物）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど、生命を守る行動をしてください。

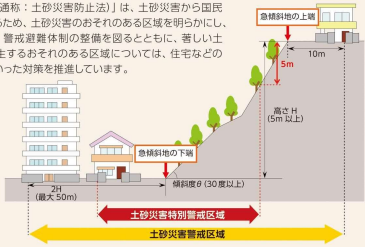
雨の降り方と災害発生との関係

1時間雨量	降り方のイメージ	災害発生時の状況
10～20ミリ	・ザーザーと降る	・この程度の雨でも長く続くときは注意が必要
20～30ミリ	・どしゃ降り ・車のワイパーを速く動かしても前方が見づらい	・街道や下水、小せなけが崩れ、小規模のがけ崩れが始まる
30～50ミリ	・バタンとむくり戻したように降る ・車での高速走行時にブレーキが効きにくくなる	・がけ崩れが起きやすくなり、危険地域では避難の準備が必要
50～80ミリ	・雨のよごしをコーティングし残り続く ・これ以上、車の運転は危険	・マンホールから水が湧き出す ・土砂災害が起こりやすい
80ミリ以上	・音質になるような圧迫感がある ・恐怖を感じる	・雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、最悪な警戒が必要

※雨の降り方が強い場合でも、長時間、雨が降る場合はがけ崩れの危険が顕在します。

土砂災害防止法とは

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（通称：土砂災害防止法）」は、土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにし、危険の周知、警戒避難体制の整備を図るとともに、著しい土砂災害が発生するおそれのある区域については、住宅などの建築制限といった対策を講じています。



土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害警戒区域の指定基準

- 傾斜度が30度以上で高さ5メートル以上の区域
- 急傾斜地の下端から水平距離が10メートル以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍（50メートルを超える場合は50メートル）以内の区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。



- 特定の開発行為に対する許可制（神奈川県）
 - 耐震性を有する建築物の構造規制
 - 建築物の移動等の動向（神奈川県）
- 土砂災害特別警戒区域の指定基準
急傾斜地の崩壊等に伴う土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動等に対して住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある損壊を生じることなく耐えることのできる力を上回る区域。

日頃の備え

家庭備蓄の充実

災害時には、ライフライン機能の低下など都市機能の低下が考えられます。このため、各家庭で最低3日間、できれば7日間、自宅で過ごせる用意をしましょう。

- 飲料水**
・飲料水は1人1日3リットルを必要とします。
・ペットボトルなどでも、家族全員分の用意をおきましょう。
- 食料**
・お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものをなるべく多く用意しておきましょう。
・普段の生活の中で十分に買い置きし、賞味期限が来る前に消費しながらいちいち確認することで、無理なく備蓄ができます。（＝ローリングストック）
- その他**
・カセットコンロ（ガスも使わず）、簡易トイレ（汚物処理剤など）を用意しておきましょう。

非常持出品チェックリスト

- 水・食料 □ 飲料水 □ 携行食・非常食 □ ビスケット・缶詰等
- 医療・衛生 □ 服用している薬 □ 救急箱 □ 衛生用品 □ 歯ブラシ・口腔ケア用品 □ 簡易マスク
- 貴重品 □ 現金 □ 印鑑 □ 健康保険証・預金通帳 □ コピー
- 安全対策 □ ヘルメット・防災ずきん □ 厚底の靴 □ 軍手
- 防災用品 □ 携帯充電器、充電器 □ 携帯ラジオ □ 懐中電灯 □ 電池 □ 時計 □ 携帯カセットラジオ □ ロープ □ ライター・マッチ □ 缶切り □ ナイフ □ 入れ紙、避難袋など
- 衣類 □ 上着（防寒着）、下着・靴下 □ 携帯レインコート □ スリッパ
- 生活用品 □ ウェットティッシュ・ティッシュ □ タオル □ コシ袋、ポリ袋
- 感染症対策 □ 体温計 □ アルコール消毒液 □ マスク

がけの防災対策

自身の所有する宅地で災害が生じないように維持保全することは所有者の義務になります。そのためには普段からがけの状態をチェックし、適切な対策を実施することが大切です。早期に対策を講じることで災害を事前に抑制することができます。右の図を参考に、自身の所有する宅地についてチェックしてください。



ハザードマップの使い方

1 自宅を見つけましょう

自宅が土砂災害警戒区域等に入っているか確認しましょう。



2 避難する場所を確認しましょう

土砂災害からの避難方法を確認しましょう。立ち退き避難が必要な場合は、適切な避難先を確認し、大きく印をつけるなどで災害時に備えましょう。



3 安全な避難経路を決めましょう

災害時には通れなくなってしまう道もあるので避難経路を複数決めましょう。



4 実際に避難経路を歩いてみましょう

家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を見直しましょう。



5 家族で災害時の対応を話し合いましょ

大雨やがけ崩れの際の行動について、家族と話し合い、災害時の約束を決めましょう。



6 学校やご近所で考えましょ

学校やご近所、災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。高齢者など、避難に推進が必要と思われる方についても、おんなどできることを考え、避難の際に協力しましょう。



7 我が家の防災メモを完成させましょ

災害時に役立つ情報

川崎市防災ポータルサイト（川崎市ホームページから）

市内の災害に関する緊急情報、避難情報などを掲載するほか、日頃からの備えに役立つ情報を紹介しています。

かわさき防災アプリ

川崎市の公式アプリのサービス「かわさき防災アプリ」では、災害時の緊急情報や避難情報などをプッシュ通知で受けられるほか、最寄りの避難所や各種ハザードマップを見ることができます。

メールニュースかわさき「防災気象情報」

川崎市から、市内の防災、気象、災害等の情報をメールで知らせてくれます。配信を希望する方は右記のメールアドレスにメールアドレスを送信してください。

防災行政無線・防災テレホンサービス

防災行政無線とは、屋外にあるスピーカから、市民の皆様に避難情報や防災気象情報をお知らせするものです。防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くとができます（通常時は音声放送が流れます）。0120-910-174（通話料なし）県内の一般加入電話、公衆電話及び一部のIP電話から044-245-8870（通話料あり）携帯電話、PH.S、県外の一般加入電話・公衆電話から

神奈川県土砂災害情報ポータル

県内の土砂災害の危険度や雨量の状況などを知ることができます。パソコンから https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/webster/kanagawa/gis/index.html 携帯電話・スマートフォン URL https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/webster/kanagawa/mobile/

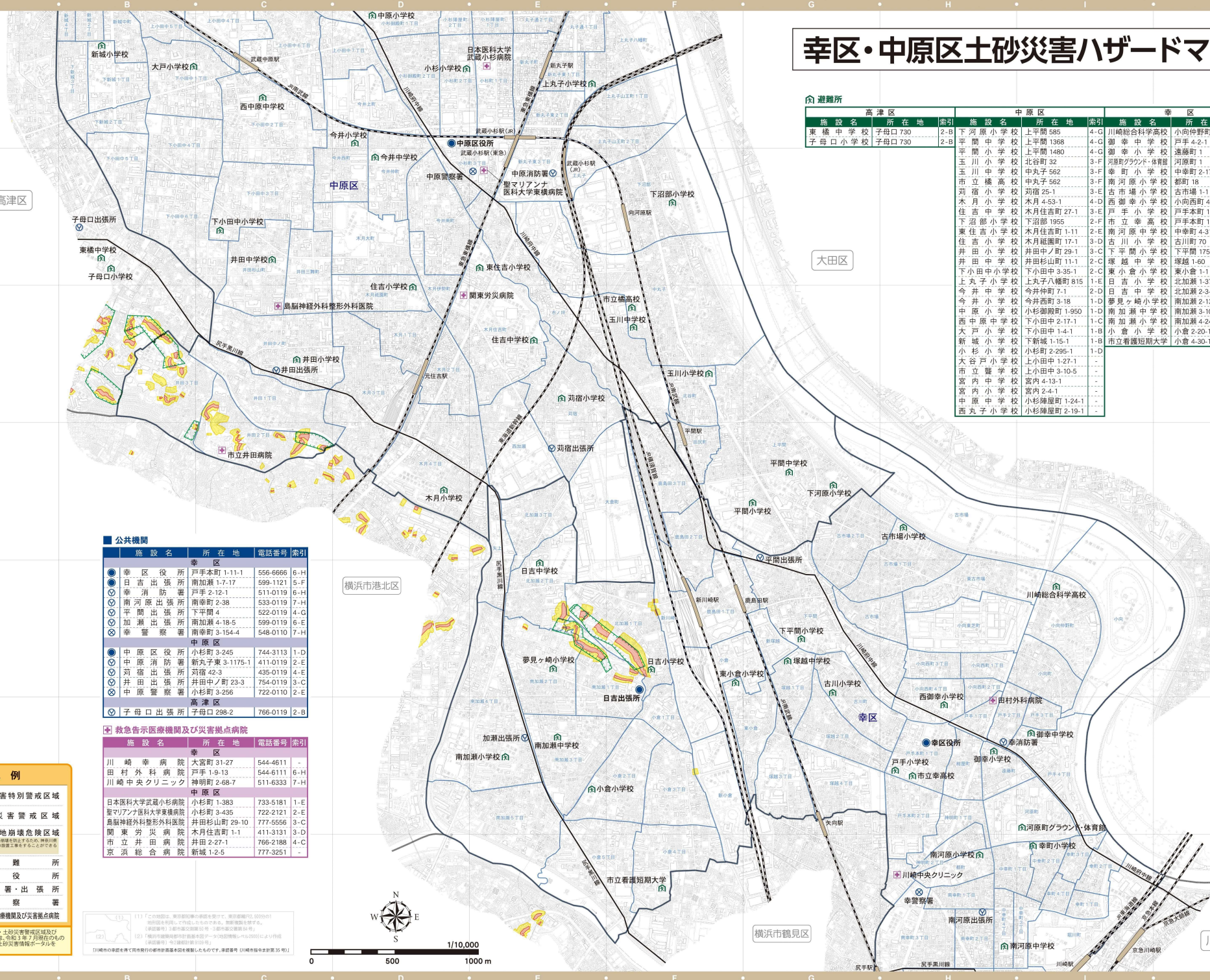
その他

気象庁ホームページで警報・注意発表の予測を見ることができます。ツイッター(@kawasaki_bousai)、緊急速報メール、地上デジタル放送、ケーブルテレビ、ウェブFM(79.1MHz)でも、情報を発信します。

お問い合わせ先

避難に関すること	総務企画危機管理室 044-200-3682	警察署 110
土砂災害警戒区域に関すること <td>幸区役所危機管理担当 044-556-6610</td> <td>消防署 119</td>	幸区役所危機管理担当 044-556-6610	消防署 119
がけの保全に関すること <td>幸区役所危機管理担当 044-244-3411</td> <td></td>	幸区役所危機管理担当 044-244-3411	
防災情報に関すること <td>幸区役所危機管理担当 044-932-7211</td> <td></td>	幸区役所危機管理担当 044-932-7211	
	まちづくり局指導部宅地企画指導課 044-200-3035	
	総務企画危機管理室 044-200-2857	

幸区・中原区土砂災害ハザードマップ



避難所

高津区				中原区				幸区			
施設名	所在地	索引		施設名	所在地	索引		施設名	所在地	索引	
東橋中学校	子母口730	2-B		下河原小学校	上平間585	4-G		川崎総合科学高校	小向仲野町5-1	5-I	
子母口小学校	子母口730	2-B		平間中学校	上平間1368	4-G		御幸中学校	戸手4-2-1	6-I	
				平間小学校	上平間1480	4-G		御幸小学校	遠藤町1	6-H	
				玉川小学校	北谷町32	3-F		河原町グラウンド・体育館	河原町1	6-I	
				市立橋高校	中丸子562	3-F		幸町小学校	中幸町2-17	7-I	
				市立橋小学校	中丸子562	3-F		南河原小学校	都町18	7-H	
				市立橋小学校	菊野25-1	3-E		西河原小学校	吉市場1-1	4-H	
				木月小学校	木月4-53-1	4-D		西河原小学校	小向西町4-30	6-H	
				住吉中学校	木月住吉町27-1	3-E		戸手小学校	戸手本町1-165	6-H	
				下沼部小学校	下沼部1955	2-F		市立幸高校	戸手本町1-150	6-H	
				東住吉小学校	木月住吉町1-11	2-E		南河原中学校	中幸町4-31	7-H	
				住吉小学校	木月延岡町17-1	3-D		古川小学校	古川町70	5-G	
				井田小学校	井田中ノ町29-1	3-C		下平間小学校	下平間175	5-G	
				井田中学校	井田中ノ町29-1	2-C		塚越中学校	塚越1-60	5-G	
				下小田中学校	下小田中3-35-1	2-C		東小倉小学校	東小倉1-1	5-F	
				上丸子小学校	上丸子八幡町815	1-E		日吉小学校	北加瀬1-37-1	6-E	
				今井中学校	今井仲町7-1	2-D		日吉中学校	北加瀬2-3-1	5-E	
				今井小学校	今井西町3-18	1-D		夢見ヶ崎小学校	南加瀬2-13-1	5-E	
				中原小学校	小杉御殿町1-950	1-C		南加瀬中学校	南加瀬3-10-1	6-E	
				西中原中学校	下小田中2-17-1	1-C		南加瀬小学校	南加瀬4-24-1	6-E	
				大戸小学校	下小田中1-4-1	1-B		小倉小学校	小倉2-20-1	6-E	
				新城小学校	下新城1-15-1	1-B		市立看護短期大学	小倉4-30-1	7-F	
				小杉小学校	小杉町2-295-1	1-D					
				大谷小学校	上小田中1-27-1	-					
				市立豊学校	上小田中3-10-5	-					
				宮内中学校	宮内4-13-1	-					
				宮内小学校	宮内2-4-1	-					
				中原中学校	小杉陣屋町1-24-1	-					
				西丸子小学校	小杉陣屋町2-19-1	-					

公共機関

施設名	所在地	電話番号	索引
幸区役所	戸手本町1-11-1	556-6666	6-H
日吉出張所	南加瀬1-7-17	599-1121	5-F
幸消防署	戸手2-12-1	511-0119	6-H
南河原出張所	南幸町2-38	533-0119	7-H
平間出張所	下平間4	522-0119	4-G
加瀬出張所	南加瀬4-18-5	599-0119	6-E
幸警察署	南幸町3-154-4	548-0110	7-H
中原区役所	小杉町3-245	744-3113	1-D
中原消防署	新丸子東3-1175-1	411-0119	2-E
菊野出張所	菊野42-3	435-0119	4-E
井田出張所	井田中ノ町23-3	754-0119	3-C
中原警察署	小杉町3-256	722-0110	2-E
子母口出張所	子母口298-2	766-0119	2-B

救急告示医療機関及び災害拠点病院

施設名	所在地	電話番号	索引
川崎奇病医院	大宮町31-27	544-4611	-
田村外科病院	戸手1-9-13	544-6111	6-H
川崎中央クリニック	神明町2-68-7	511-6333	7-H
日本医科大学武蔵小杉病院	小杉町1-383	733-5181	1-E
聖マリアナ医科大学東横病院	小杉町3-435	722-2121	2-E
島崎神経外科整形外科医院	井田杉山町29-10	777-5556	3-C
関東労災病院	木月住吉町1-1	411-3131	3-D
市立井田病院	井田2-27-1	766-2188	4-C
京浜総合病院	新城1-2-5	777-3251	4-C

凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地崩壊危険区域
- 避難所
- 区役所
- 消防署・出張所
- 警察署
- 救急告示医療機関及び災害拠点病院

土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域は、令和3年7月現在のもの。※最新情報は各自治体土砂災害情報ポータルを参照ください。

(1) 川崎市の土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域は、令和3年7月現在のもの。※最新情報は各自治体土砂災害情報ポータルを参照ください。

(2) 川崎市の土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域は、令和3年7月現在のもの。※最新情報は各自治体土砂災害情報ポータルを参照ください。

川崎市の土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域は、令和3年7月現在のもの。※最新情報は各自治体土砂災害情報ポータルを参照ください。

